



札幌市議会議員 厚別区

こじま ゆみ

厚別ふれあい循環バス廃止に対応して

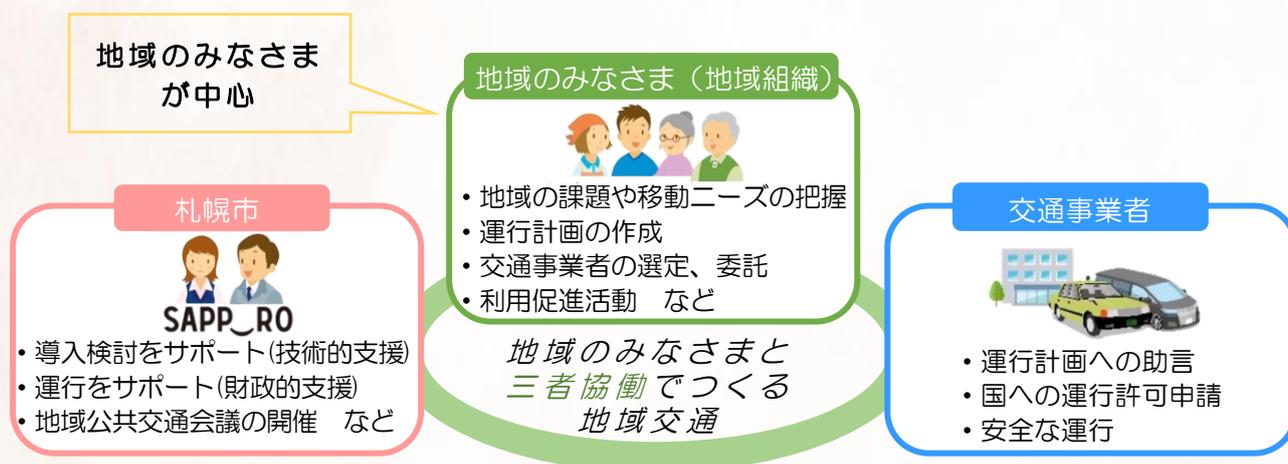
地域住民にとって重要な交通手段であったこの循環バスの廃止は、大きな痛手となります。北海道中央バスによると、乗務員不足が非常に深刻で、循環バスだけでなく市内の6路線も令和6年度末に廃止される予定です。

厚別中央町連合会では、循環バスに代わる交通手段を模索しています。具体的には、JR厚別駅への既存のバス路線の乗り入れを中央バスに検討してもらうことや、新たな交通手段の導入に取り組んでいます。また、行政や運行事業者と協力し、三者協働の仕組みを構築することも考えています。

通常は、1~2年かかるところですが、既存の路線を活用することで、何とか年内に検討を終え、来年度からの運行を目指して関係調整を都度行いながら、鋭意取り組んでいます。

地域の足を確保する取り組みを支援します！(札幌市地域交通支援助成金)

札幌市では、地域交通の支援を行っています。バス路線の統廃合などで最寄りのバス停まで遠くなった地域において、市民の交通の利便性を高めるため、地域内の移動手段を確保しようとする取り組みを支援しています。



◎支援対象となる地域は？

原則として以下の項目に該当する地域

- ・バス停および路面電車停留所から概ね300m以上離れていること。
- ・鉄道駅から概ね750m以上離れていること。

◎支援対象となる取組みや助成内容は？

対象地域から最寄りのJR・地下鉄駅やバスターミナル、周辺の商業施設、総合病院、公共施設等への移動を目的に、地域組織がタクシー事業者等に委託して移動手段を確保する取り組みで、収支的に持続可能な運行が見込めるものを予算の範囲内で助成します。

裏面に続く→

実証運行 (一定期間)

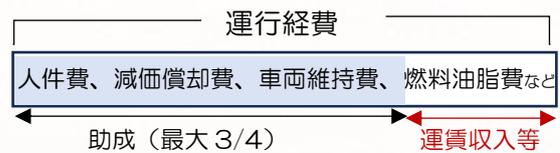
運行欠損額を全額助成



短期（3か月程度）、中期（1年程度）の実証運行により持続可能な運行が見込める場合、本格運行へ移行

本格運行

タクシー車両(ワゴン型 or セダン型)の場合
運行経費の最大 3/4 まで助成



但し、マイクロバスなどバス車両の場合は、最大 1/2 まで助成

◎運行費用はどの程度必要か？

一例として、

運行時間が「ある地点」と「最寄りの地下鉄」の間をセダン型タクシー(乗客定員 3~4 名)で、朝 2 時間(9 時台と 10 時台)、夕 2 時間(16 時台と 17 時台)のみ往復運行します。

▶ **運行費用**
約 28,000 円/日

運行を継続していくためには、運行費用の 1/4 (約 7,000 円) の収入を確保していく必要があります。
※運賃 350 円と設定した場合、20 人/日の乗車が必要です。

◎実証運行開始までどのくらいの時間が必要か？

地域における検討組織の立ち上げ、課題やニーズの把握、運行計画の作成、地域公共交通会議における協議、国への許可申請などが必要のため、通常 1 年~2 年程度かかります。

問合せ先：札幌市まちづくり政策局総合交通計画部 都市交通課 TEL011-211-2492

海洋風力発電「響灘ウィンドファーム」視察



物流センター人材育成施設にて



風力発電機のブレード（翼の長さ約 54.65m）



響灘ウィンドファームは、福岡県北九州市の響灘沖に位置する日本初の商業運転を行う大規模な洋上風力発電所です。風力を利用して電力を生成し、再生可能エネルギーの普及と地域のエネルギー自給率向上に貢献しています。

ブレードは遠くから見ると小さく見えますが、近くで見るとその大きさに圧倒されました。

GX※ 資産運用特区に、認定された札幌市において、再生可能エネルギーを導入する際の参考になると感じています。※GXとは、クリーンエネルギー中心へと転換し経済社会システムを変革する取り組みの事。

また、日本における技術や設備の先進性は興味深く、札幌市でもサプライチェーンとしての役割や人材の育成等、技術を導入に向けて検討する価値があると認識しました。

こじまゆみ政務調査室

〒004-0064 札幌市厚別区厚別中央3条5丁目 8-20 TEL011-896-6633